

## Ⅳ 次の世代の中心となって活躍する人が育つまち

### 1 環境教育の推進

環境目標4-1  
市民・事業者・行政で、環境を意識した行動が広がっていること

★ 達成指標に対する本年度の状況 ★

指標項目	概要	2020 R2 (改定時)	2022 R4	2023 R5	2030 R12 (目標)
環境関連講座の実施※ 単位：講座	取組・結果等について 全公民館で環境関連講座を実施することができました。 今後の取組・対策等について 引き続き環境関連講座を実施し、環境教育の推進を図ります。	12	20	28	25
環境分野に関する体験学習会等への参加人数※ 単位：人	取組・結果等について 新型コロナウイルス感染予防策を行いつつ、参加者を増やすことができました。 今後の取組・対策等について 引き続き体験学習会等を実施し、環境教育の推進を図ります。	2,666	4,615	4,521	6,000

※ 本市における実績値。

## (1) 環境学習の機会の創出

### ① 教育文化センターにおける環境教育のための事業

学校教育現場における環境教育の実践のため、研修講座の実施や授業支援を行っています。

令和5年度は、新江ノ島水族館にて「江の島沖の自然～水中ドローンでの海底調査と深海の世界～」をテーマに研修を実施しました。講義の中では、深海にすむ生物の生態について解説があり、参加者は実際にオオグソクムシに触ったり、餌をあげたりして観察をしました。体験プログラムでは、本物の水中ドローンを展示し、水中ドローンで撮影した深海生物について解説をしていただきました。調査研究や体験学習プログラムを始めとする教育活動にも力を入れている様子が伝わり、充実した研修となりました。

### ② 藤沢の自然に関する刊行物の活用

『藤沢の自然』シリーズとして、市内の自然を子どもたちと教職員・市民に紹介する本を刊行してきました。平成6年発行の「身近な草・きのこの語らい」から平成27年発行の「藤沢の四季」まで8冊が刊行されています。過去に刊行した冊子は、各小・中・特別支援学校にそれぞれ45部ずつ配布するほか、必要に応じて貸出を行い、授業実践に役立てています。また、冊子の更なる効果的な利用を促進するため、教職員対象の研修講座にもテキストとして随時使用し、児童生徒並びに教職員への内容の理解と普及に努めています。また、藤沢の自然シリーズは有償刊行物として市民に提供しており、市内の自然観察会などでもテキストとして活用されています。

### ③ ビオトープ造成及び教育的運用推進への支援

各学校へのビオトープの設置、管理並びにその学習上の運用について、アドバイスを行っています。教育文化センター内に設置した池中心型ビオトープも管理し、説明などを行っています。

### ④ 各学校・団体との連携

各研修講座や藤沢市総合かがく展の開催を通して、湘南台文化センターこども館、新江ノ島水族館等、各団体との連携を継続して行っています。

### ⑤ 藤沢市総合かがく展

令和5年度54回目となった総合かがく展は、10月19日（木）～25日（水）の期間に、湘南台文化センターこども館を会場に開催しました。



【第54回藤沢市総合かがく展の様子】

## ⑥ 藤沢市美化・リサイクル推進ポスター

毎年、小・中学校の夏休みを利用して作品を募集し、優秀作品は表彰しています。

### 令和5年度応募実績

小学校 32校 593点、 中学校 3校 33点



【最優秀賞受賞作品】

(上から時計回りに小学校低学年の部、中学校の部、小学校高学年の部)

## ⑦ こどもエコクラブ

こどもエコクラブは、将来を担う子供達の環境への意識を高めるため、地域の仲間と一緒に自分達で環境に関する学習や体験ができるよう支援する事業で、平成7年度から環境省で始められた事業です。令和5年度、全国で2,193団体、およそ92,000人が登録しています。登録すると、全員に会員バッジ、ニュースなどが送られ、全国のクラブとの交流や優秀クラブへの表彰などが受けられます。

本市でも、地域の公民館や友達のグループ、学校の課外活動の仲間など、令和5年度は4団体、サポーター（指導者）を含めて308人が登録しています。

### 《令和5年度登録エコクラブ一覧》

片瀬少年少女探検隊 (片瀬公民館 41人)

ふじさわあーすまいる (藤沢保育園 120人)

くげぬまあそび隊 (鶴沼公民館 34人)

さわくらぶ (家族登録 2人)



【こどもエコクラブ「ふじさわあーすまいる」活動風景】

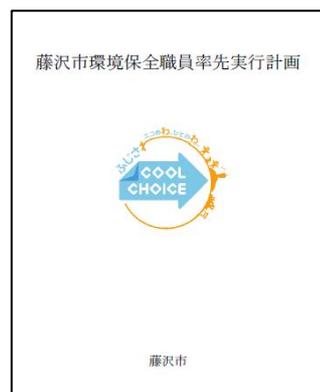
## 過去登録エコクラブ一覧

エコたまたまばこ	下土棚、近所の友達 5人	マヨネー'S	立石、近所の友達 4人
どんぐり児童クラブ	片瀬、地域の児童クラブの友達 14人	湘南台ネイチャークラブ	湘南台小、委員会活動の仲間 25人
湘南キッズクラブ	鶴沼、近所の友達 6人	明治公民館子どもクラブ	明治公民館 21人
自然探検団	辻堂、近所の友達 3人	ちよめちよめクラブ	鶴沼海岸、近所の友達 4人
ホワイト	長後、近所の友達 4人	くげぬま遊び隊スーパーリーダー	鶴沼公民館 23人
ポップコーンズ	立石、近所の友達 4人	ひまわり児童クラブ	湘南台、児童クラブ 78人
ハーブ	辻堂、近所の友達 3人	うさぎ児童クラブ	下土棚、児童クラブ 51人
みつばち児童クラブ	遠藤、児童クラブ 58人	サクラサクラブ	辻堂西海岸、近所の友達 7人
こだま(木霊)	長後、近所の友達 16人	藤沢市立大鋸小学校4年生	大鋸、学校 122人
湘南エコ子	円行、近所の友達 6人	ジモタンクラブ	石川児童館 51人
たいよう児童クラブ	亀井野、児童クラブ 79人	B&G 江の島海洋クラブ	江の島、近所の友達 39人
お団子	羽鳥 家族3人	みくに幼稚園	鶴沼、幼稚園 120人
まめつくすファミリー	羽鳥 家族3人	大鋸児童館こどもエコクラブ	大鋸児童館 13人

### ⑧ 行政に携わる職員の環境意識の高揚を図るための研修

本市が一事業者として、環境保全や、エネルギー使用量及び温室効果ガスの削減等を率先して行うため、「藤沢市環境保全職員率先実行計画」を策定し、環境マネジメントシステム管理推進員を中心に本市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減や資源の有効活用などの取組を行っています（取組結果については、188 ページ参照）。

この計画における削減への取組を持続可能なものとするため、毎年、環境マネジメントシステム管理推進員を対象とした研修や、全職員を対象とした環境 e ラーニングを行い、温室効果ガス排出量の削減に対する意識づけを図っています。



### ⑨ 石川丸山ホテル保存会

「石川丸山ホテル保存会」は、平成 20 年 4 月 1 日に施行された「神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例」に基づく、里地里山の保全、再生及び活用を实践する活動団体として、平成 20 年 5 月 6 日に結成されました。

この会は、ホテルに関する生態、増殖の研究、生息環境の保全及び水環境の浄化等を通じ、地域住民を中心に結成された「丸山谷戸援農クラブ」と連携を密にしつつ、里地里山の文化、自然保護活動に寄与することを目的として活動しています。

会の目的を達成するために、次の事業を行っています。

- ◇生態、自然増殖の研究及び調査
- ◇生息環境の保護対策及び環境調査
- ◇ホテル保護の啓発
- ◇自然と人とが共生できる環境づくり
- ◇その他目的達成に必要な活動



【秋の実り（左）と、農林地等里地里山の保全を目的とした体験教室（右）】

### ⑩ 学校が進める生物多様性に関する取組

各学校においては、「環境に関する教育」として、教科横断的に生物多様性に資する様々な取組が実践されています。例えば、小学校低学年では、生活科で「アサガオ」や「サツマイモ」などを育てる活動が、中学年では、理科の「季節の動植物」で、年間を通じて定点観察する活動などが行われています。高学年では、「メダカ」を育てる中で、生命の誕生を学ぶことや、国語科の「自分たちができること」という単元において、環境について「自分たちに何ができるのか」ということを具体的に考えていく活動も行われています。中学校では、理科や道徳以外にも、部活動や委員会等で「植物を育てる」ことの必要性を考える機会をもつなど、生物の多様性に関する様々な取組を進めています。

### ⑪ 公民館

公民館では、市民の環境についての関心を高めることなどを目的として、各年度において、自然環境、リユース・リサイクル、エネルギーなどをテーマとして取り上げた各種講座等を実施しています。

公民館環境関連講座参加人数の推移

単位：人

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
公民館環境関連事業	1,856	297	492	646	1,085

※ 令和2年度、令和3年度の講座数・参加者数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

令和5年度 公民館環境関係事業一覧

単位：人

番号	事業名	対象名	具体的内容	参加者数	公民館名
1	夏休み みらいえいが会 ～木や花のない世界 って想像できる？～	未就学児と 保護者	生活環境協議会と連携し、青少年向けの環境啓発に資する映画を上映する。	157	藤沢
2	生活環境協議会共催 事業 「らんま先生の eco 実験パフォーマンス ショー」	市民一般	サイエンスマジックや大型空気砲の実験を通して、子どもから大人まで楽しみながら地球や環境問題について考えることができる講演会を実施した。	132	藤沢

3	企画政策課共催事業 「家族で学ぼうSDGs～カードゲームとレゴ®を使って～」	小学生と保護者	Get the Pointカードゲームとレゴ®シリアスプレイを使いSDGsを学んだ。	16	藤沢
4	くげぬまあそび隊 2023	小学生	顔合わせ、グループワーク、救急法の講義、公民館宿泊、公民館まつり、ハイキング、八ヶ岳宿泊、修了式など1年を通して交流を図った。	34	鶴沼
5	夏休み親子自然体験教室～セミの抜け殻観察～	小学生と保護者	新林公園内で、セミの抜け殻を探し、採集。その後村岡公民館で、セミの生態についての講義を聞き、採集したセミの抜け殻をセミの種類別に分類した。	33	村岡
6	海藻おしば教室	小学生と保護者	海の森の働き「ブルーカーボン」についての映像を見た後、はがき大のケント紙に12種類の海藻を使って、親子それぞれが自由にレイアウトし「海藻おしば」を作成した。作品は一度講師が持って帰り、パウチして参加者に送付した。	30	村岡
7	家族でSDGsカードゲーム体験！	小学生と保護者	専門家の指導のもと、カードゲーム「2030SDGs」を通して、家族と一緒に学んだり、共通の知識を増やすことが出来る場を提供した。	17	六会
8	親子で行こう「夜の昆虫観察」	小学生と保護者	多様な生き物があふれる鎌倉広町緑地で、夜でしか見ることのできない昆虫の生態を親子で観察する。	22	片瀬
9	親子で作ろう「落ち葉だめ」	小学生と保護者	稲荷の森の中で、親子による自然観察と落ち葉だめ作りの体験。	17	片瀬
10	SDGs講座「家族で取り組もう！SDGs」	市民一般	カードゲーム「2030SDGs」の体験を通して、SDGsの意義や目標達成の重要性を認識し、身の回りの課題に向き合い、家族で取り組んでいくきっかけを作る場を設けた。	14	明治
11	教育講演会「知ってる？石けんのパワー！！～わたしたちの海を守るためには何をせんとくするか～」	小学生と保護者	親子参加でシャボン玉せっけん柵より石けん成り立ちの話や、藤沢市せっけん推進協議会から学校給食での使用の話とこねこね石けん作りを体験した。	61	明治
12	春のバードウォッチング	市民一般	前半は悪天候により外での実施が難しく双眼鏡の使い方や近隣でみかける鳥の説明などの座学から開始し、天気が回復した後半に公民館周辺の野鳥を観察しに外に出た。	26	御所見
13	冬のバードウォッチング	市民一般	日本野鳥の会の講師の指導のもと、御所見地区の目久尻川付近を歩き、冬の野鳥観察を行った。	24	御所見
14	御所見地区生活環境協議会共催事業 ゴミ拾い体験ゲーム	市民一般	環境事業センターと御所見地区生活環境協議会の指導のもと、親子でゴミ拾い体験のゲームを通して分別の仕方を学んだ。	19	御所見
15	ネイチャーファンクラブ	小学生	①ハイキング ②火山のメカニズム ③果物収穫体験 ④作戦会議 ⑤森林キャンプ ⑥セーリング体験 ⑦ウォーキングサファリ ⑧作戦会議 ⑨雪国キャンプ ⑩いちご狩り	20	遠藤
16	親子講座～遠藤親子DEスクール～（お天気教室講座）	小学生と保護者	お天気クイズ、ペットボトルで雲を作ろう、気圧を感じる実験、台風に挑戦ゲーム、防災の紙芝居、台風時の高潮実験	26	遠藤
17	親子講座～遠藤親子DEスクール②～（自然観察会）	小学生と保護者	防災、自然観察、気象学、制作等を学習する。遠藤笹窪谷公園で自然観察会を行い、親子で生物、植物に触れる機会を提供した。	15	遠藤

18	脱炭素社会につながるライフスタイル～地球温暖化・今私たちにできること～	市民一般	"地球温暖化の解説と防止するためのライフスタイルを学習した。	2	遠藤
19	ファミリーアドベンチャーpart2 「宮ヶ瀬ダム探険」	小学生と保護者	宮ヶ瀬ダムにある「水とエネルギー館」で施設職員からのダムの出来るまでとその役割についてレクチャーを受け、その後管内の展示物で学習をした。	20	長後
20	ファミリーアドベンチャーpart3～冬の八ヶ岳で遊ぼう！～	小学生と保護者	藤沢市八ヶ岳野外体験教室周辺で、雪遊びや自然観察（動物の足跡・雨氷）を行った。	31	長後
21	公民館事業「サークル共催事業「湘南の風物詩「ボウフウ狩り」～湘南海浜植物育成会の歩みとともに～」	市民一般	公民館サークル「湘南海浜植物育成会」と共催でハマボウフウや環境についての講演を行った。	26	辻堂
22	野鳥・樹木講座（みその森）	市民一般	関東地域の野鳥について講義を聞いた後、聖園女学園の敷地に足を運び、日頃は立ち入ることのできない学園内の森林を肌で体験しながら、樹木や生物の生態を学ぶ。	28	善行
23	夏休み子ども広場「SDGs 工作講座」	小学生	SDGsについて海洋ゴミの問題やリサイクルについて学び、講師のステンドサークル指導のもとシーグラスを使った工作（フォトフレーム、キャンドルフォルダー）を作った。	17	大庭
24	環境講座「冬の野鳥・自然を観察しよう vol.2」	成人	湘南大庭公民館から出発し裏門公園、大庭親水公園・遊水地を巡り、講師の説明を受けながら各場所で野鳥や植物を観察した。野鳥を観察するため、みどり保全課から双眼鏡を借用しより詳しく観察を行うことができた。	19	大庭
25	社会講座「SDGs 地球温暖化について」	市民一般	県の地球温暖化防止活動推進員を講師として招き、講師の方から地球温暖化の原因、進行具合、カーボンニュートラルの具体的な取組の説明を受けた。また個人が暮らしの中でできる身近な取組について考えた。	8	大庭
26	お天気防災講座	市民一般	お天気の基礎、また災害と関係する気象の仕組みについて学び、事前に調べて行動する、またその時どう行動すればよいのか、「命を守る」ことについて学んだ。	17	湘南台
27	廃棄物を使ったキャンドル作り	成人	廃棄物の現状や課題、ボタニカルキャンドルがもたらす癒し効果や石油由来のキャンドルとの燃焼の違いについて話を聞いた後、廃棄物のドライフラワーを使い、キャンドル作りを行った。	11	湘南台
28	海洋科学教室	小学生	新江ノ島水族館にて多様なプログラムによる体験学習を実施する。	243 (12館)	13 公民館
合計 参加者数				1,085	

## ⑫ 環境学習による青少年の健全育成

各公民館では、環境について関心を高めてもらうことを目的とした環境学習の講座を実施するとともに、豊かな自然を体験する活動を通して青少年の健全育成も図っています（具体的な講座・内容は、159-161 ページ「⑪ 公民館」の表「公民館環境関係事業一覧」参照）。

### ⑬ ごみ体験学習会の実施

毎年、市内の小学校や保育園等に塵芥収集車で出向き、小学4年生を対象にする「ごみ体験学習会」、保育園児・幼稚園児を対象にする「キッズごみ体験学習」を開催しています。保護者も参加して、ごみ分別、減量・資源化の体験学習を行っています。



【ごみ体験学習会】

ごみ体験学習会の開催実績

年度		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
小学校	開催数(回)	36	25	33	36	35
	参加人数(人)	3,955	2,666	3,642	3,974	3,824
保育園等	開催数(回)	23	—	—	22	25
	参加人数(人)	1,516	—	—	641	697

※ 令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校については希望制とし、保育園等については中止。  
令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保育園等については中止。  
令和4年度については、小学校に特別支援学校1校を含む。

### ⑭ ごみゼロゲーム体験学習

ふじさわ環境フェアなどのイベント時や公立小学校を対象とした出張学習として、ごみゼロゲーム体験学習を行っています。日常生活の中で出てくる、そのままではごみになってしまうものを“救う方法”を考えるボードゲームを使用し、廃棄物がゼロ、つまりごみゼロの社会を作ることは難しいことですが、ごみを減らす方法を簡素化して学ぶことができます。



【小学校でのごみゼロゲーム体験学習会】

### ⑮ 学校における環境教育・環境学習

環境問題については、地球温暖化の防止、循環型社会の形成、自然環境の保全・再生など課題が山積しています。現在、学習指導要領の中で、持続可能な社会の担い手を育てる教育として、明記されており、環境教育も包括されています。また、神奈川県でも学校教育を通じて環境・エネルギー等の理解を深め、「自らが考え、行動する人」の育成を目指しています。

新しく採択された小学校教科書の中にSDGsの内容も多く取り入れられました。

本市の小・中・特別支援学校では、環境教育・環境学習の目的やねらいに沿って、体験を重視し、身近な環境や地域に目を向ける環境学習を各教科等で展開しています。

今後もSDGsの視点及び持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力の育成など、より広い視野から環境教育の推進が図られるよう、啓発活動等に取り組んでいきます。

## 令和5年度 「環境学習」の主な取組

校種	取組項目
小学校	ごみの分別・減量化、節電、省エネ、ペットボトルキャップの収集、花だん作り、緑のカーテン、米作り、農家見学、リデュース・リユース・リサイクル学習、ごみゼロゲーム、ごみ拾い、ロードパッカー車教室、環境事業所・浄水場見学、下水道教室、モビリティ・マネジメント教育、ドングリ・落ち葉拾い、校内の緑化活動、草花・野菜の栽培、メダカ・昆虫の飼育観察、磯の観察体験、ごみ問題の発表会、地産地消プロジェクト、環境（SDGs）発表会、卒業式の花を育てよう、SDGs 映画観賞会、マイクロプラスチック拾い、ビーチクリーン、ジャパンモビリティショー見学、水源地を学ぶ学習 等
中学校	ごみの分別・減量化、節電、緑のカーテン、ペットボトルキャップの収集、ハケ岳野外体験教室、SDGs に取り組んでいる職場にインタビュー、コーヒー豆から考える、校内緑化活動、学級園芸活動、環境フェア、水不足について（Every Drop）、し尿とごみ処理について 等
特別支援学校	ごみの分別、草花・野菜の栽培、ペットボトルキャップで作品を作る 等

令和5年度の取組については、ごみの分別・減量化、節電等、日常的に環境に配慮する取組は多くの学校で行われており、教科書でも掲載されているSDGsに関する取組も増えています。

取組の形態としては、総合的な学習の時間を柱として、小学校では花だん作りや野菜作り、米作りといった生活・理科・社会科等の発展学習として学年で扱う実践、中学校では生徒会活動や総合的な学習の時間等の授業の中で扱う実践などが多くありました。そのほかにも、小・中・特別支援学校とも委員会が中心となり、全校に呼びかけて取り組む例もありました。

令和5年度は各学校においてSDGsを意識した学習の取組が着実に増えてきたところからも、これまでの取組の成果が発展してきている様子がわかります。

### ⑩ 研修講座

令和5年度は、教職員（一部の講座は一般も対象）向けに50講座実施し、延べ2,000人弱の参加がありました。環境教育に関わる学習実践を行うため、教職員を対象とした研修講座を実施しました。今後、これらの研修の一部は市民へも開放し、広く環境への意識を高められるように努めていきます。

### ⑪ ごみ処理施設などの見学

ごみの減量に対する意識の向上を図るため、ごみ処理施設の見学の受入れや講座の開催等を行っています。

#### ア 「リサイクルプラザ藤沢」（環境啓発施設）の運営

平成26年4月から、廃棄物の発生抑制、減量・資源化等の意識啓発を目的とした「リサイクルプラザ」（環境啓発施設）の運営を開始しました。小学4年生を対象とした施設見学の受入れやリサイクル体験教室、講座等の開催により、



【リサイクル体験教室】

広く環境について学習する場や機会を提供しています。

環境啓発施設の運営実績

単位：人

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
小学校見学者数	2,636	97	52	2,080	2,103
体験教室参加者数	353	198	49	40	123

※ 令和2年度、令和3年度の小学校見学者数・体験教室参加者数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。

## イ 石名坂環境事業所の施設見学

小学4年生の社会科学習を中心に施設見学を受け入れ、ごみ処理について学習する場や機会を提供することで、ごみの減量に対する意識の向上を図っています。

石名坂環境事業所の施設見学受入実績

単位：人

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
小学校見学者数	1,093	46	0	376	232
上記以外の数	74	0	28	33	29

※ 令和2年度～令和4年度の見学者数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの。令和5年度は、見学が北部環境事業所主体となったため減少。

## (2) 環境情報の提供・共有化

### ① 『ふじさわ教育』での情報発信

藤沢市教育文化センターでは、市内教職員向け情報誌『ふじさわ教育』（年2回発行）やホームページ等を通じて、市内の自然について情報発信を行っています（詳細は118ページ）。

### ② 環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」による環境情報の提供・環境保全活動の啓発

平成21年度に開設した環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」では、市民、環境団体等の活動紹介や環境イベントの実施状況等を掲載しています。

ふじさわエコ日和のページビュー（PV）総数

単位：件

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
PV数	80,424	73,370	75,995	65,358	83,938

※ 「ふじさわエコ日和」は平成30年6月にリサイクルプラザ藤沢のHPを統合し、リニューアルした。

## ア 「エコライフチェック」

誰もが日々の生活の中でエコの取組を進められるよう「エコライフチェック」を掲載し、市民の自発的な温暖化対策の取組を促進しています。

エコライフチェックのアクセス件数

単位：件

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
アクセス件数	1,389	768	734	486	294

※ アクセス件数は「家庭編」と「事業所編」の合計。



※ 「ふじさわエコ日和」、「エコライフチェック」は令和3年度にリニューアルした。

【「ふじさわエコ日和」及び「エコライフチェック」トップ画面】

## イ 環境クリック募金

環境クリック募金では、協賛企業からワンクリックにつき5円をいただき、環境教育のための教材を購入しています。

環境クリック募金参加状況

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
参加企業数(社)	10	10	9	9	11
クリック数(回)	406,105	448,024	441,928	404,460	407,230
募金額(円)	890,000	900,000	900,000	900,000	1,030,000

※ 令和元年度は、10月から1企業、1月から1企業協賛。

令和2年度は、年度途中で1企業が解約したため、募金は9企業からのもの。

令和5年度は、7月から1企業、12月から1企業協賛。

## 2 各主体による環境保全・環境美化

### 環境目標4-2

市民・事業者・行政が協力して、さまざまな環境保全・環境美化が展開されていること

### ★ 達成指標に対する本年度の状況 ★

指標項目	概要	2020 R2 (改定時)	2022 R4	2023 R5	2030 R12 (目標)
環境美化活動への参加人数 <sup>※1</sup> 単位：人	取組・結果等について 環境美化活動への参加人数は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたキャンペーン活動等が再開されたこともあり、2021年度（令和3年度）57,114人から大幅に増加しています。 今後の取組・対策等について 今後も啓発活動を推進し、環境美化活動への意識醸成を図ります。	— <sup>※2</sup>	82,119	100,603	140,000

※1 本市における実績値。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、環境美化活動を中止。2019年度（令和元年度）の実績は134,425人。

## (1) 環境保全活動の推進

### ① 市民活動団体への支援

環境保全活動を展開している市民団体等に対して、次のような活動支援策を行いました。

- ・ 事業への後援及び補助
- ・ 会場及び資料等の提供
- ・ テーマに応じた講師、説明者の派遣
- ・ 優良活動市民、団体の表彰
- ・ 団体間の情報交換、ネットワークの場づくり

### ② 各種事業者団体との連携

藤沢商工会議所、藤沢市商店会連合会、藤沢地区廃棄物対策協議会、藤沢市企業等環境緑化推進協議会などの事業者団体と連携し、環境保全の推進についての講習や意見交換等を実施しています。

### ③ 環境啓発パンフレット等による環境情報の提供

#### ア 『ごみ NEWS』(環境総務課)

本市のごみの処理、ごみの減量・資源化等に関する情報を掲載し、年1回発行しています(詳細は151ページ)。

#### イ 「環境インフォメーション」(環境保全課)

大気や水質などの測定結果や生活環境に関する情報等を掲載し、年1回発行しています。

環境インフォメーション NO.102

2023年(令和5年)9月発行

### 野生動物には、エサを与えないで!

野生動物は、あなたのペットではありません!

なぜ、野生動物にエサを与えてはいけないの?

【被害の例】

- ・ フンや羽毛などによる悪臭、汚れ
- ・ アレルギーで困る
- ・ 喚き声などの騒音
- ・ 入浴に出発、寝みつく
- ・ 作物や樹木の被害
- ・ ゴミの散乱
- ・ 生態系への影響

【繁殖力】

- ハト…1回に2個の卵を産み、1年に何度も卵を産みます。ヒナは1か月あまりで巣立ち、約6か月で卵を産めるようになります。
- カラス…年に一度、4~5月ごろに3~5個の卵を産みます。ヒナの巣立ちが1か月程度経った頃の6~7月ごろで、この時期は、巢の近くを通りかかるとしても親鳥から襲われることがあるため、注意が必要です。卵を産めるようになるには、おそらく3年はかかるだろうといわれています。
- アライグマ…4~6月に平均3~7頭の子を産みます。神奈川県内では2~10月に出産が確認されています。通常、1歳で子どもを産めるようになります。
- ハクビシン…1年を通して繁殖が可能で、1回に2~3頭の子を産みます。約10か月で子どもを産めるようになります。
- タイワンリス…1年を通して繁殖が可能で、最大で年3回の繁殖が可能とされています。1回に1~2頭の子を産みます。約1年で子どもを産めるようになります。

これらの野生動物は、繁殖力も強く、エサとなる食べ物があふれる街中で、どんどん増える傾向にあります。

#### 無意識のうちに野生動物の餌付け行為を行っていませんか

野生動物が街中に出てくる最大の目的は「食物=エサ」です。エサの味を覚えると「街馴れ」「人馴れ」し、街に頻りに出没・徘徊します。野生動物のエサ場をなくすために、次のことを守りましょう。

- ① エサを与えない
  - ・ 「かわいい」「かわいそう」などの心情からエサを与えない
- ② 犬や猫などのペットのエサの管理
  - ・ エサを屋外に放置しない
  - ・ 片付けまで責任をもって行う
- ③ 家庭菜園の管理
  - ・ 柵などを設置し、侵入を防ぐ
  - ・ 収穫した野菜や野菜くず、木になった果実などを放置しない
- ④ ゴミ出しマナーの徹底
  - ・ できるだけ食べ残しなどの生ゴミを減らす
  - ・ 生ゴミは水分を切って新聞紙などで包む
  - ・ ゴミは収集日当日の朝に出す
  - ・ ポリバケツ等のゴミ箱を利用する

藤沢市役所 環境保全課 生活総務部  
電話 0466-50-3519 FAX 0466-50-8418  
メールアドレス: fj-khozen@city.fujisawa.lg.jp  
ホームページ: <http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/khozen/>

### 【環境インフォメーション】

### ウ その他刊行物(各課)

「清掃事業の概要」や「藤沢の環境」等では、各事業の概要及び実績等を掲載し、毎年1回発行しています。また、公害苦情相談における市民からの要望で、自治会、町内会等を通じて、「薪ストーブ」、「バーベキュー」、「生活騒音」等に関する周知啓発のチラシの回覧等を行いました。

## (2) 環境美化活動の推進

### ① 生活環境団体の育成

きれいで住みよい環境づくりを目指す藤沢市生活環境連絡協議会及び各地区生活環境協議会に補助金を交付し、自主的な地区組織の育成を図り、清潔で住みよい環境づくりを推進するため、各種事業を行っています。

毎年、本市と共催で市民大会を開催しており、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりましたが、令和5年度は市内各地区にて生活環境の向上及び改善に貢献した個人及び団体への表彰や、市内公立小中学校から募集した「藤沢市美化・リサイクル推進ポスター」入選者の表彰などを行いました。



【美化・リサイクル推進ポスター入選作品】

### ② 「藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例」

環境美化の推進及び迷惑行為の防止を図るため、平成19年7月20日に「藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例」を施行しました。条例では、市民・事業者等の責務を定めたほか、5つの迷惑行為（ポイ捨て・路上喫煙(禁止区域内)・ふんの放置・深夜花火・落書き）を禁止行為とし、罰則を設けています。

また、路上喫煙禁止区域として、藤沢駅周辺（平成19年12月1日指定）、湘南台駅周辺（平成21年4月20日指定）、辻堂駅周辺（北口：平成23年12月1日、南口・西口：平成25年12月1日指定）を順次指定しました。平成29年2月1日から以下の区間内の駅周辺についても指定し、市内の全駅周辺を路上喫煙禁止区域としました。

#### ◇路上喫煙禁止区域

- ・小田急江ノ島線：長後駅～片瀬江ノ島駅
- ・江ノ島電鉄：藤沢駅～江ノ島駅
- ・湘南モノレール：湘南江の島駅・目白山下駅
- ・JR 東海道線：辻堂駅・藤沢駅

違反者には、指導→勧告→命令の手続きを行い、命令に従わない場合には、以下の罰則を適用します。

#### 「きれいで住みよい環境づくり条例」禁止事項

項目	勧告	命令	罰則（罰金）	令和5年度指導件数※1
路上喫煙禁止区域内での喫煙	対象	対象	2万円以下	1,700件
たばこの吸い殻や空き缶等の投棄等	対象	対象	2万円以下	
飼い犬等のふんの放置等	対象	対象	2万円以下	
落書き※2	—	対象	5万円以下	
静穏を害する深夜花火	対象	対象	罰則なし	434件

※1 令和5年度勧告及び命令件数は0件。

※2 落書きについては、勧告なく、直ちに命令となる。

以上のような条例で禁止される行為を未然に防止するため、路上喫煙禁止区域内での巡回指導や



不法投棄ごみ収集処理量

単位：kg

年度	不法投棄 処理件数	内 訳		計	1 回当たり 平均収集量	月平均の 収集回数 (回)
		可燃ごみ	不燃ごみ			
令和元年	206	120	28,398	28,518	138	17
令和 2 年	193	25	12,285	12,310	64	16
令和 3 年	155	150	8,880	9,030	58	13
令和 4 年	104	0	7,230	7,230	70	9
令和 5 年	113	0	3,780	3,780	33	9

⑥ ボランティア清掃活動等の推進

一日清掃デー、地区内道路等のボランティア清掃などを通じて、市民・事業者・行政が一体となり地域活動及び啓発活動を推進し、環境・美化の意識を高めるよう努めています。

ア 一日清掃デー（令和 2 年度、令和 3 年度は中止）

《令和 5 年度》 参加者 12,703 人  
 ごみ収集量 19,140kg （可燃ごみ 16,430kg 不燃ごみ 2,710kg）

年 度	参加人数 (人)	ごみ収集量 (kg)
令和元年	16,049	21,710
令和 2 年	—	—
令和 3 年	—	—
令和 4 年	13,267	15,890
令和 5 年	12,703	19,140

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和 2 年度、令和 3 年度は中止。

イ 地区内道路等のボランティア清掃

《令和 5 年度》 参加団体 1,140 団体（延べ 83,499 人）  
 ごみ収集量 259,790kg

年 度	参加団体	ごみ収集量 (kg)
令和元年	988	315,700
令和 2 年	1,010	218,330
令和 3 年	1,051	228,170
令和 4 年	1,097	268,570
令和 5 年	1,140	259,790

## ウ 不法投棄・ポイ捨て防止イベント

平成 27 年度から、環境美化と不法投棄・ポイ捨て防止や健康増進も兼ねて、ウォーキングをしつつ市民や団体等と連携し、ポイ捨てごみ等を清掃する取組を行っています。

《令和 5 年度》

参加団体 14 団体

参加人数 179 人



【第 9 回 藤沢七福神めぐりクリーンウォーキング】

## ⑦ 海岸の保全

相模湾の自然環境の保全と利用環境の創造を図り、海岸清掃を一元化するため、県・関係市町・企業の出捐金により平成 3 年 4 月 1 日に（公財）かながわ海岸美化財団が設立されました。同財団は機械及び人力で相模湾沿岸の海岸の清掃を定期的を実施しています。



【ビーチクリーナー】

令和 5 年度 （公財）かながわ海岸美化財団による各海岸清掃状況 単位：日

項目 \ 海岸	江の島（西浦）	片瀬東浜	片瀬西浜	鵜沼海岸～ 辻堂海岸	河川河口部
人力清掃 （通常）※	70	112	144	90	112
人力清掃 （夏期増員）※	0	58	62	0	0
機械清掃 （ビーチクリーナー）	0	210	152	78	0
機械清掃 （バックホウ）	0	6	4	0	0

※ 通常清掃は 3 人（鵜沼海岸～辻堂海岸のみ 4 人）、夏期（7、8 月）増員は 9 人での対応となっている。

## ⑧ 海岸美化清掃

### ア 海岸清掃

江の島・片瀬海岸・鵠沼海岸・辻堂海岸の清掃を、神奈川県と本市がその経費を負担し、(公財)かながわ海岸美化財団が実施しています。

海岸清掃の実施結果

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
負担金(千円)	30,262	33,437	33,921	34,147	34,713
ごみ収集量(kg)					
可燃ごみ	509,550	367,880	492,570	232,670	291,240
不燃ごみ	88,300	50,450	58,340	43,690	53,050
海藻	87,200	30,200	24,000	1,560	91,600
合計	685,050	448,530	574,910	277,920	435,890

### イ ゴミゼロクリーンキャンペーン

海岸美化の一環として、環境週間に合わせて地域自治会等の参加による、本市主催のクリーンキャンペーンを実施しています。



【ゴミゼロクリーンキャンペーン】

ゴミゼロクリーンキャンペーンの実施結果

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
参加団体数	87	—	—	66	77
参加人数(人)	4,778	—	—	3,897	4,230
ごみ収集量(kg)	1,040	—	—	850	810

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度、令和3年度は中止。

## ウ 河川ごみの流出抑制

河川ごみの海岸への流出を抑えるために、境川（管理者は神奈川県）の除塵機を維持管理しています。

河川ごみ収集量 単位：kg

年度	境 川	
	可燃ごみ	不燃ごみ
令和元年	1,900	1,770
令和2年	770	700
令和3年	440	360
令和4年	540	400
令和5年	470	320



【境川の除塵機】

## エ 観光客への啓発

海水浴を中心とする観光客に対する美化啓発を図るため、海の日街頭美化キャンペーンを実施し、ゴミ袋やウェットティッシュなどの啓発グッズを配布しています。

## ⑨ 衛生害虫等の駆除

### ア ユスリカ

ユスリカの発生が多い白旗川・小糸川・不動川・一色川へ4月～10月に残留性がない昆虫成長制御剤を散布して、駆除に努めています。

### イ ハエ

(株)藤沢市興業公社に委託してし尿汲み取り便所に無償で防疫薬剤（ピリプロキシフェン 6g）を発生期に原則3回程度投入し、衛生害虫の駆除に努めています。

〈令和5年度〉	対象世帯	462世帯
	実施回数	1,420回

### ウ スズメバチ

スズメバチからの危害を防止するため、専門業者に委託して巣の撤去を行っています。

相談等受付数と撤去件数の推移 単位：件

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
相談等受付件数	934	682	975	1,092	868
撤去件数	313	246	511	464	354



【スズメバチの巣の撤去風景】